

スケッチマップツール
ローカルナレッジの水害リスクマネジメントへの統合

2022年11月2日

クローナ-カロリン 博士研究員

Abstract:

自然災害の被災者は世界中で増加の一途をたどり、ドイツのアール渓谷で発生した洪水被害が昨今の例として挙げられる。講演者の研究では被災者、地方自治体、研究者をつなぐメソッドを構築し、例えば過去に住民が被災した水害等に関して、情報共有の改善や連携を通じて適切な災害防止策を講じている。スケッチマップツールはこれらの情報共有をサポートし、現在さまざまなユースケースに適用されている。